

新商便り 3月号

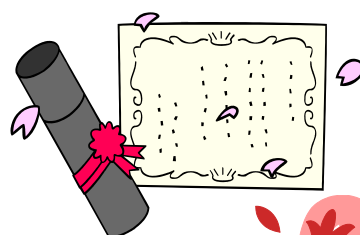
「卒業おめでとう」

令和7年3月1日（土）3年生99名が、数々の思い出を胸に3年間通った学舎を巣立ちました。3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

卒業される皆さんは、勉強、検定、部活動、学校行事など、伝統ある新居浜商業高校のアルバムにすばらしい1ページを残してくれました。

卒業というゴールは、また新たなスタートの時です。それぞれの目標に向かって大きく羽ばたいてください。御健闘をお祈りいたします。

保護者の皆様方、今後とも新居浜商業高校をよろしく願います。



卒業おめでとう 点滴穿石～日々の努力を大切に～

総務課長 大塚さやか

卒業生のみなさん、そして保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

人生の第一番目といってもいいほどの節目を迎え、喜ばしい気持ちと不安に感じる日々を過ごしていることと思います。

高校を卒業すると、仕事を始めたり、一人暮らしを始めたり等、生活が変わります。特に就職した人は、学生でなくなるため今までの生活が大きく変わると思います。この4月からの一年は、楽しいことばかりではないしんどいこと、またつらいことも経験することと思います。

「点滴穿石」という私の好きな言葉があります。文字通り一滴の小さな水滴が長い年月を経ると石にも穴をあけるという意味で、小さな努力でも続けていけば実を結ぶということです。思い通りにいかない時やしんどい時に何か今の自分にできる小さなことを見つけてください。今日頑張ったら明日も頑張れます。少しずつ続けていくと、何か変わっていることに気づきます。その変化は、自分の周りの環境だったり、また自分自身であったりとその時々を感じ方で違ってきます。前向きに、困難に立ち向かってもらいたいと思います。

どうしても乗り越えられないと思うことにぶつかったら、いつでも母校に帰ってきてください。ここで過ごした三年間は、みなさんの人生の糧になっています。みなさんのこれからの人生が幸多いのものであるよう、この場で応援しています。